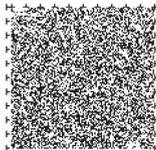
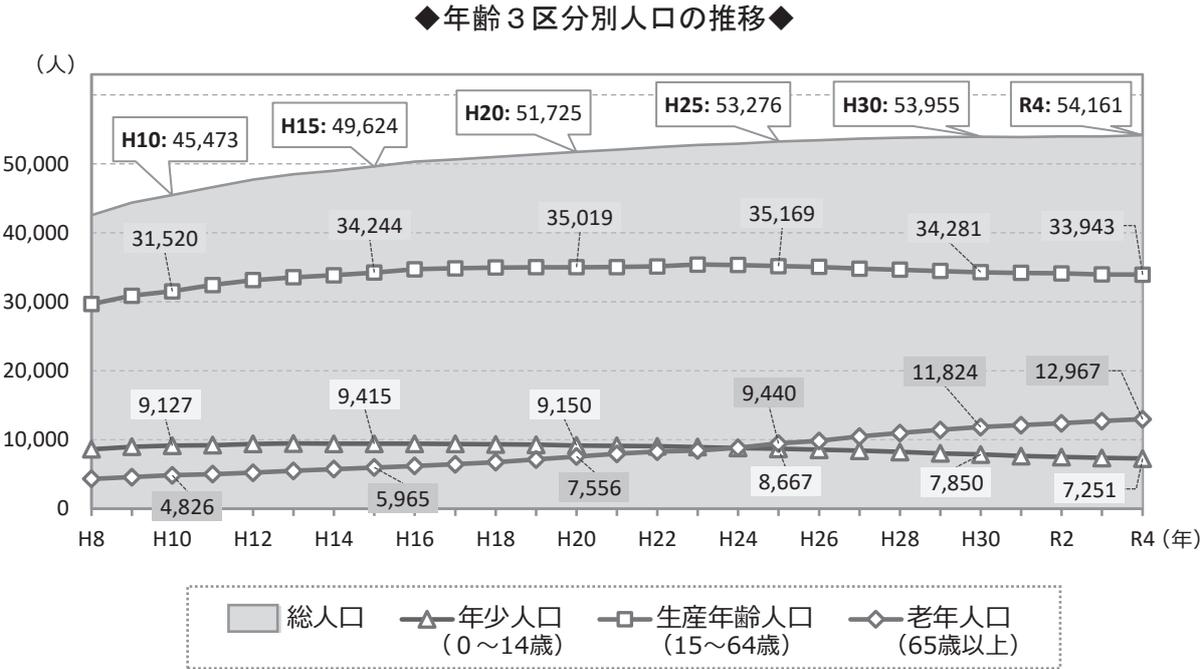


第2章 男女共同参画を取り巻く現状

1. 統計データから見える岩出市の現状

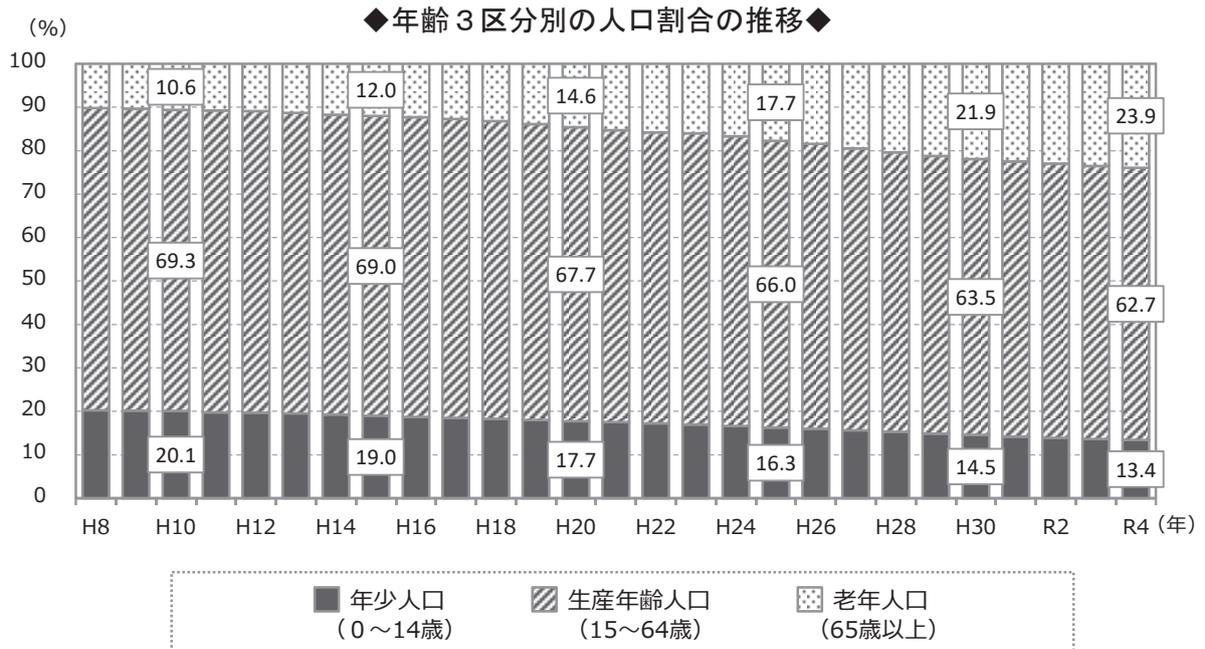
(1) 年齢3区分別人口の推移

本市の人口は、増加傾向で、令和4年には、54,161人となっています。年齢3区分別の人口の推移を見ると、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）は減少し、老年人口（65歳以上）は増加しています。平成24年には、老年人口が年少人口を上回り、その差は広がっています。

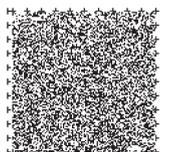


(2) 年齢3区分別人口割合の推移

年齢3区分別の人口割合の推移を見ると、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）の割合は減少が続いており、老年人口（65歳以上）の割合は増加が続いています。



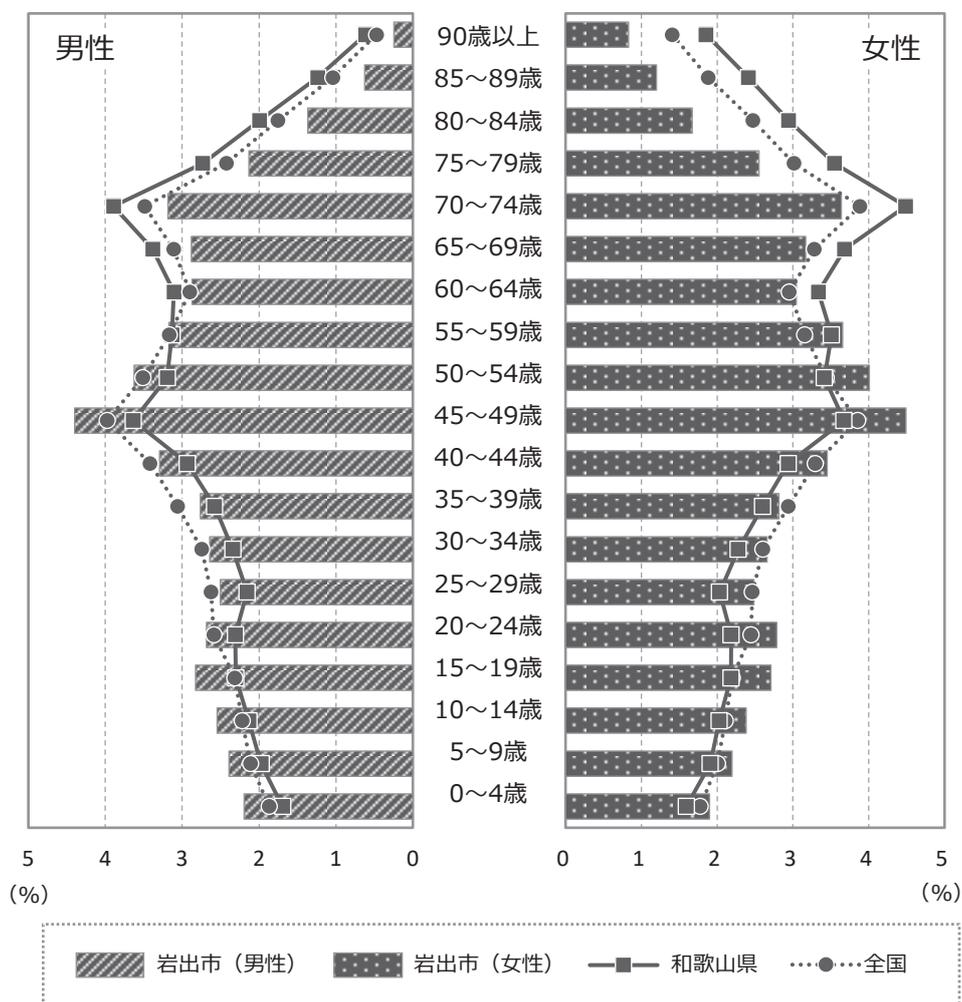
資料：総務省「住民基本台帳」※H7～H25は各年3月31日時点、H26～は各年1月1日時点



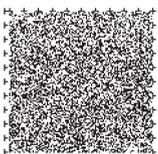
(3) 5歳階級別人口比の構成

5歳階級別人口比の構成を見ると、全国と比べて、男女ともに0～24歳と45～54歳代の割合が高く、65歳以上の割合は低くなっています。男女ともに70～74歳代のいわゆる「団塊世代」及びその子ども世代に相当する45～49歳の「団塊ジュニア層」が本市のボリュームゾーンとなっています。また、75歳以上では、女性の人口が男性を上回っています。今後5～10年は、これらの年齢層の加齢に伴い、更なる後期高齢者の増加が予想されます。

◆ 5歳階級別人口比の構成 ◆



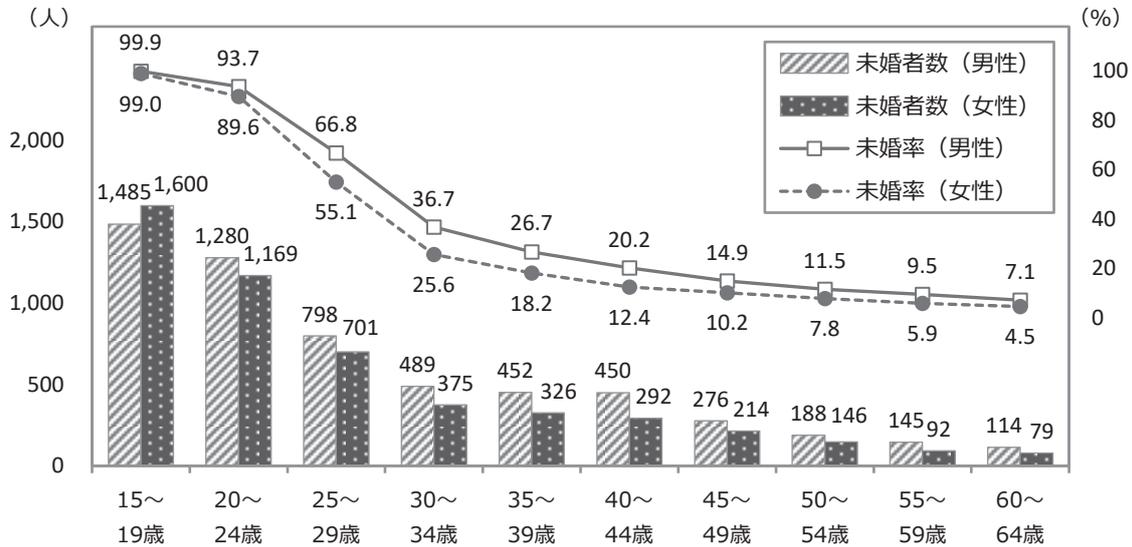
資料：総務省「住民基本台帳」※令和3（2021）年1月1日時点



(4) 未婚者数と未婚率

未婚率は男女とも、20歳代で割合が急速に低下し、30歳代以降も徐々に割合が低下し続けており、50歳代では9割程度の人が婚姻している状況にあります。

◆未婚者数と未婚率（男女別5歳階級別）◆

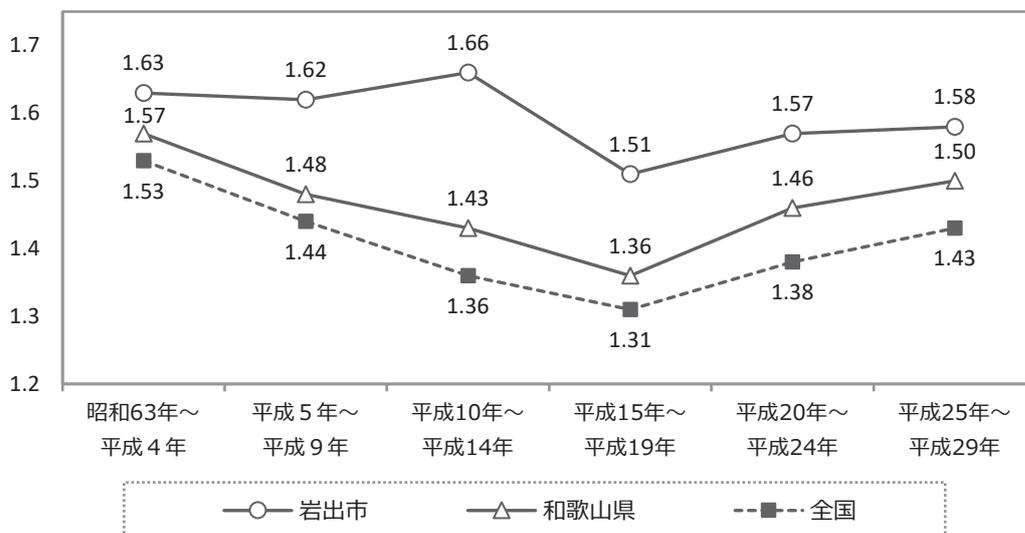


資料：総務省「国勢調査」平成27（2015）年

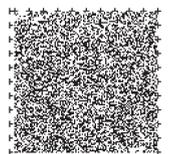
(5) 合計特殊出生率

本市の平成25年～平成29年の合計特殊出生率^(※)は、1.58で、国及び県と比べて、高い率で推移しています。

◆合計特殊出生率（ベイズ推定値）の推移◆

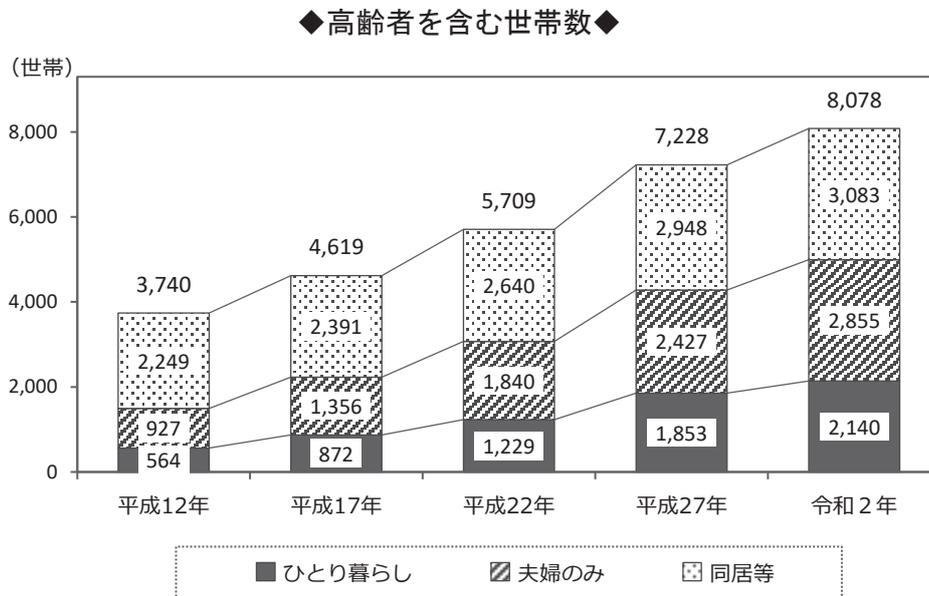


資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」



(6) 高齢者のいる世帯の推移

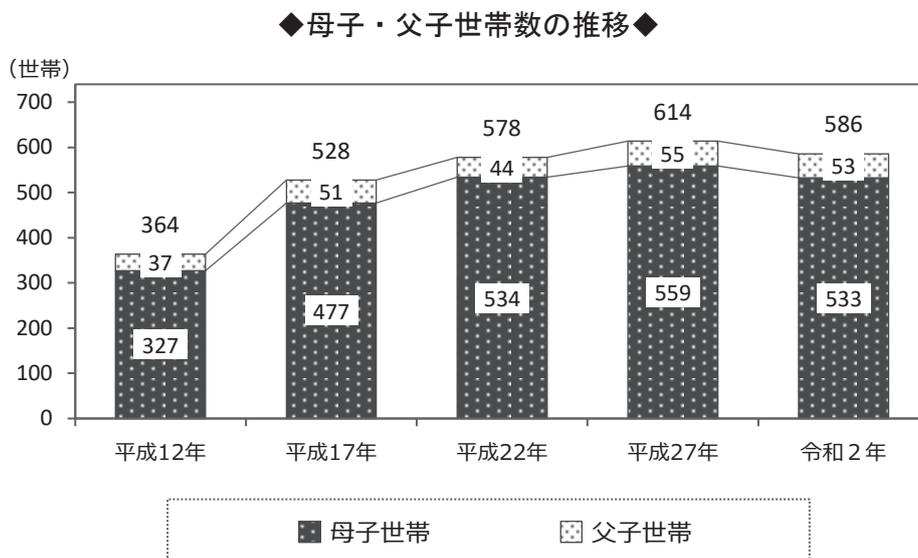
本市の65歳以上の高齢者がいる世帯の全体数は増加で推移しており、特に高齢者の夫婦のみの世帯とひとり暮らし世帯が増加している状況となっています。



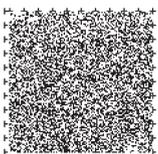
資料：総務省「国勢調査」

(7) ひとり親家庭の推移

ひとり親家庭（母子・父子世帯）については、令和2年では586世帯、20年前の1.6倍と増加傾向で、そのうち大半を母子世帯が占めています。

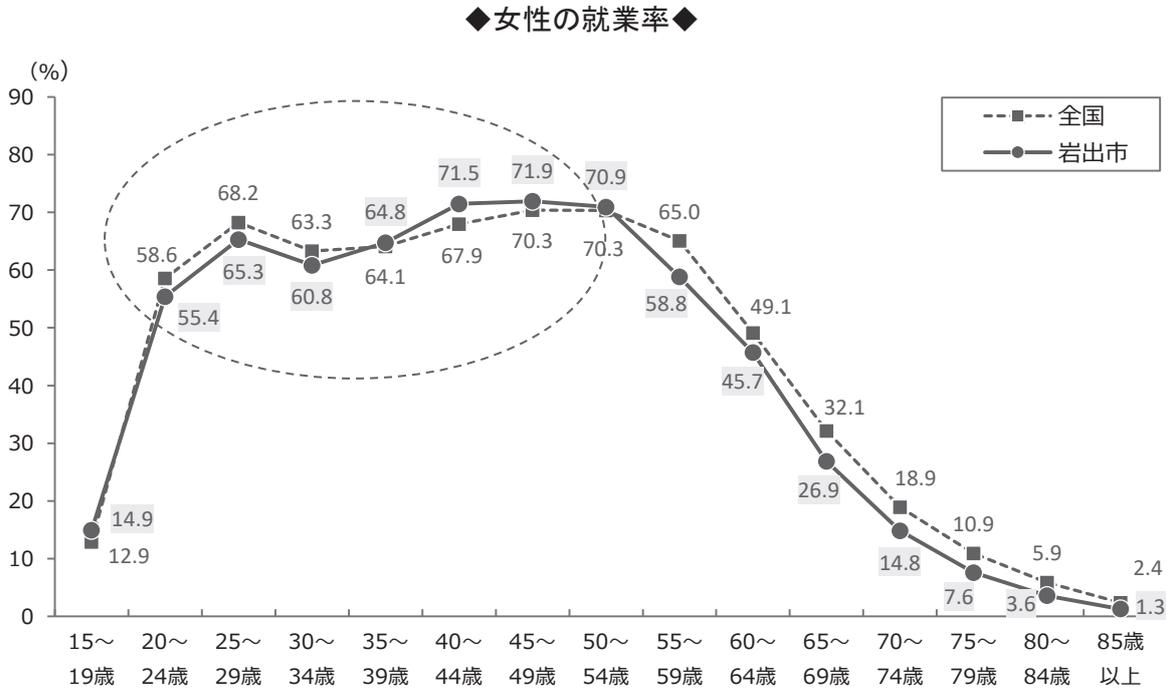


資料：総務省「国勢調査」

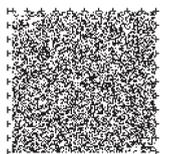


(8) 女性の就業率

女性の就業率について、子育て世代（20～40歳代）に注目して見てみると、30歳代の就業率が減少する、いわゆる「M字カーブ^(※)」の状況が見られることから、結婚・妊娠・出産等の理由により離職する女性の状況がわかります。



資料：総務省「国勢調査」平成27（2015）年

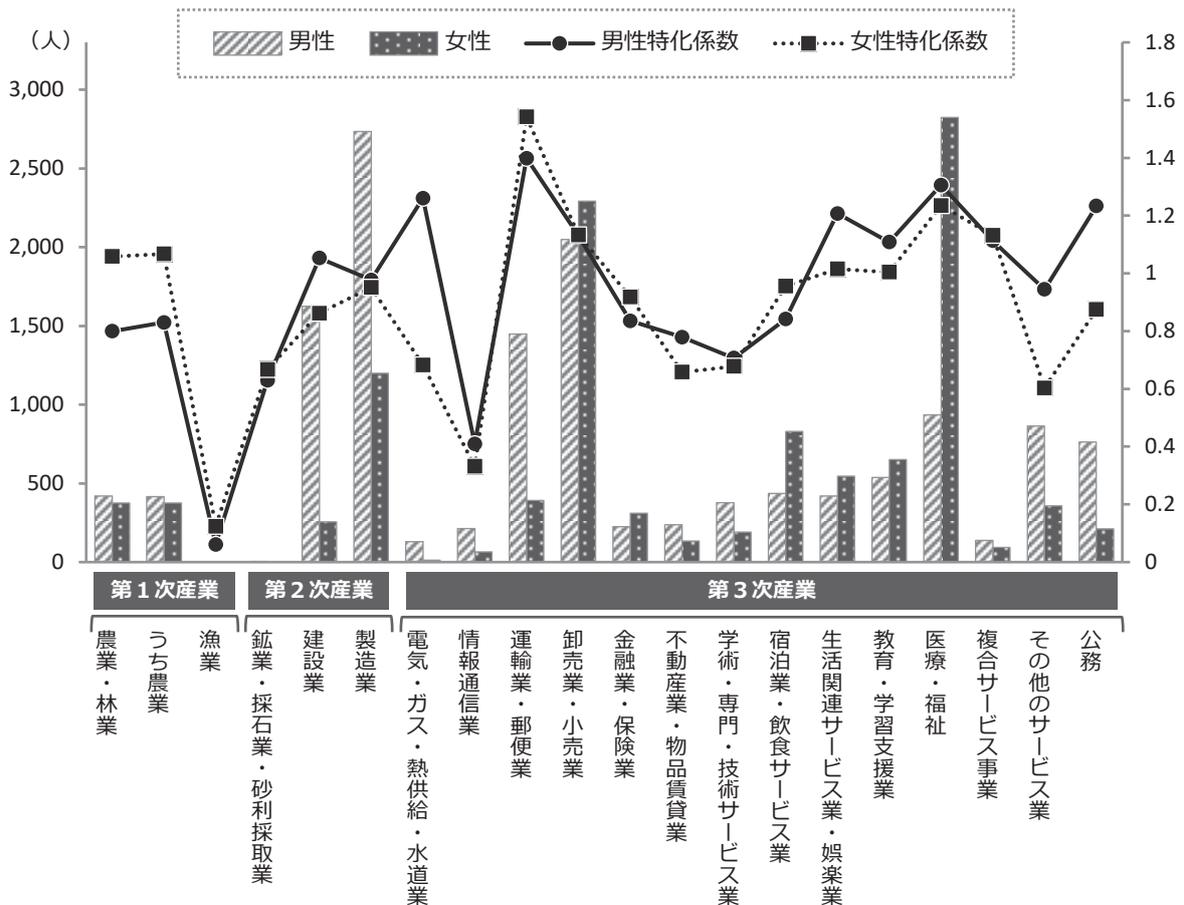


(9) 産業人口

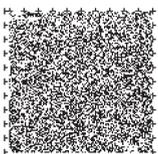
男女別産業人口を見ると、男性では「製造業」が最も多く、次いで、「卸売業・小売業」、「建設業」の順となっています。また、女性では「医療・福祉」が最も多く、次いで、「卸売業・小売業」、「製造業」の順となっています。

特化係数^(※)で見ると、男女ともに「運輸業・郵便業」がやや高くなっています。

◆男女別年齢階級別産業人口◆

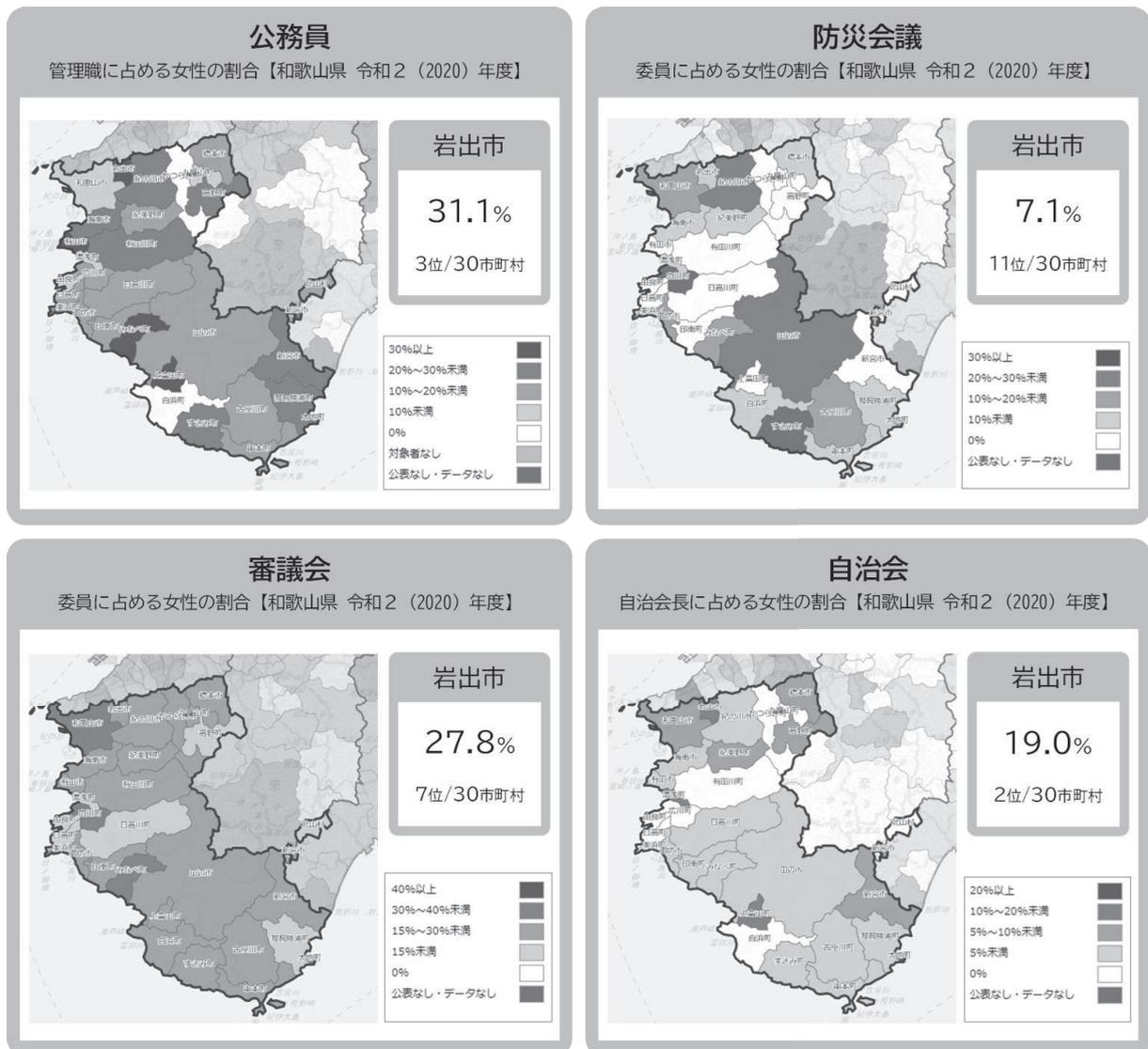


資料：総務省「国勢調査」平成27（2015）年

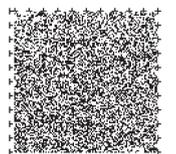


(10) 女性登用の状況

- 公務員における管理職に占める女性の割合は、平成28年度で25.0%（16/66名）でしたが、令和2年度は31.1%（19/61名）と高まっています。全国平均16.1%と比べて高くなっていますが、引き続き、女性職員の登用を進めます。
- 防災会議の委員に占める女性の割合は、令和2年度で7.1%（2/28名）にとどまっています。全国の平均10.9%より低く、女性委員の登用を積極的に進める必要があります。
- 審議会の委員に占める女性の割合は、令和2年度で27.8%（118/425名）となっています。全国平均28.7%より低く、更に、女性委員の登用を進める必要があります。
- 自治会長に占める女性の割合は、令和2年度で19.0%（75/394名）となっています。全国平均6.6%より高いですが、引き続き、性別に関わらず自治会長に登用される環境づくりを進めます。



出典：内閣府 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況
 (市区町村女性参画状況見える化マップ)



2. アンケート結果から見える岩出市の現状

(1) 住民意識調査の概要

第5次岩出市男女共同参画プラン策定のための基礎資料とするために「男女共同参画社会づくりのための住民意識調査」を実施しました。

- | | |
|----------|----------------|
| ▪ 調査対象 | 市内在住の20歳以上の男女 |
| ▪ 調査対象者数 | 2,500人 |
| ▪ 調査方法 | 郵送による調査票の配布・回収 |
| ▪ 調査期間 | 令和2年9月～11月 |

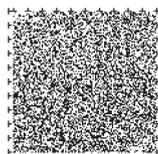
調査対象者数（配布数）	2,500票
回収数	1,038票
回収率	41.5%

■回答者の属性について

- 性別は、「男性」が44.7%で「女性」は54.6%となっています。
- 年齢は、「60歳代」が23.0%と最も高く、次いで「70歳代以上」（21.9%）で60歳以上の回答者が全体の44.9%を占めています。
- 未既婚は、「結婚している」が、72.8%となっています。
- 家族構成は、「親と子（二世帯家族）」が46.9%と最も多く、次いで「夫婦二人暮らし」（32.0%）、「一人暮らし」（11.0%）の順となっています。

■報告書の見方

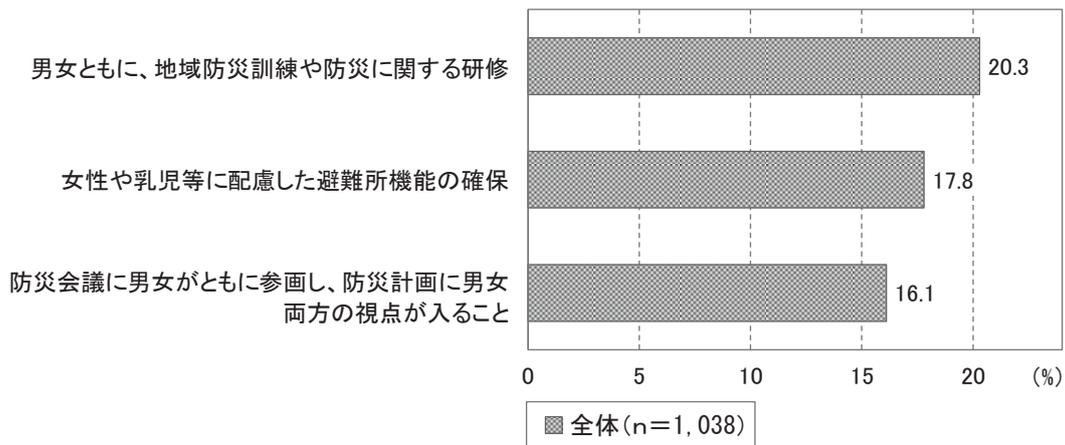
- 図中のnは、設問に対する回答者数のことです。
- 回答比率は、回答者数（n）を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入して表示しています。そのため、内訳の合計が計に一致しない場合があります。



(2) 住民意識調査の結果

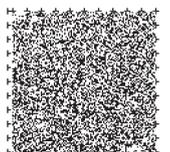
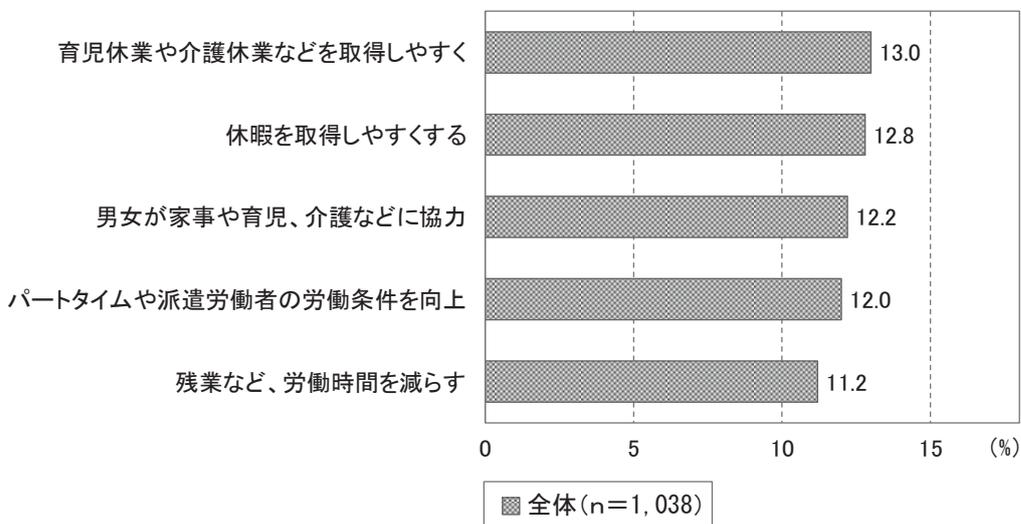
質問内容	防災活動に関して男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思うか ※グラフは上位3番目まで
------	---

上位3つまでを見ると、「男女とも防災訓練や研修に参加すること」、「女性等に配慮した避難所機能」の次に「性別を問わない防災会議への参画」の割合が高くなっています。現状として、男性の参画の割合が高いことから、女性の参画を推進する必要があります。



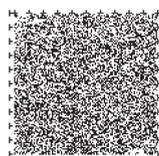
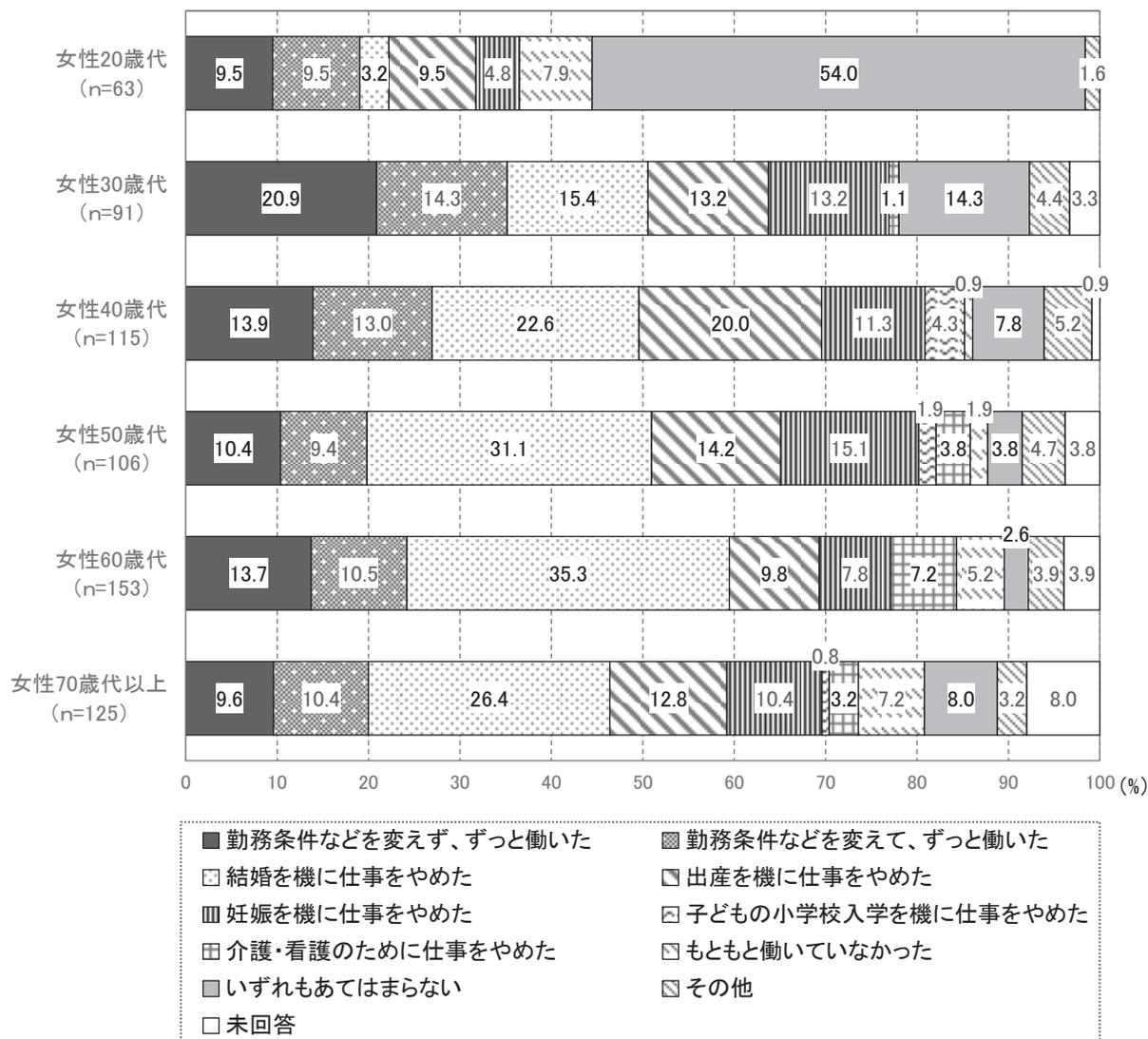
質問内容	男女がともに働きやすい社会をつくるために、どのようなことが必要だと思うか ※グラフは上位5番目まで
------	---

上位5つまでを見ると、「育児や介護の休業の取得」、「休暇の取得」の次に、「性別を問わない家事等への協力」の割合が高くなっていることから、男女平等^(※)の観点による家事の分担等の意識啓発が求められます。



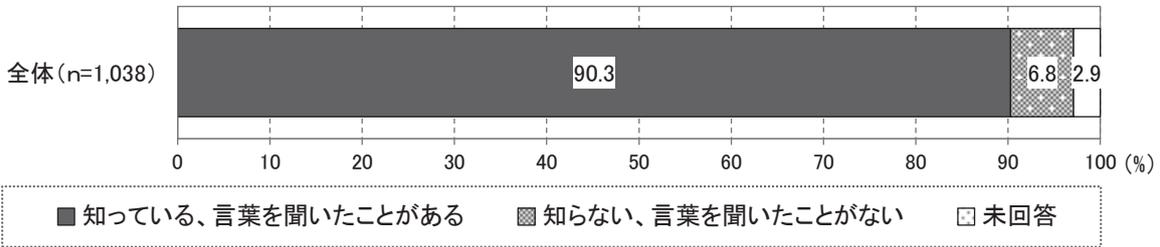
転換期の働き方を女性の年齢別で見ると、「勤務条件などを変えず、ずっと働いた」割合について、30歳代では20.9%、40歳代では13.9%となっています。結婚や出産等により継続を希望する女性の就労が制限されないよう、職場や家庭の環境の改善が求められます。

《女性・年齢別》



質問内容 配偶者や恋人からの身体的・心理的な暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について知っているか

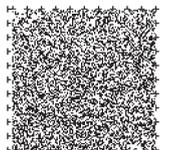
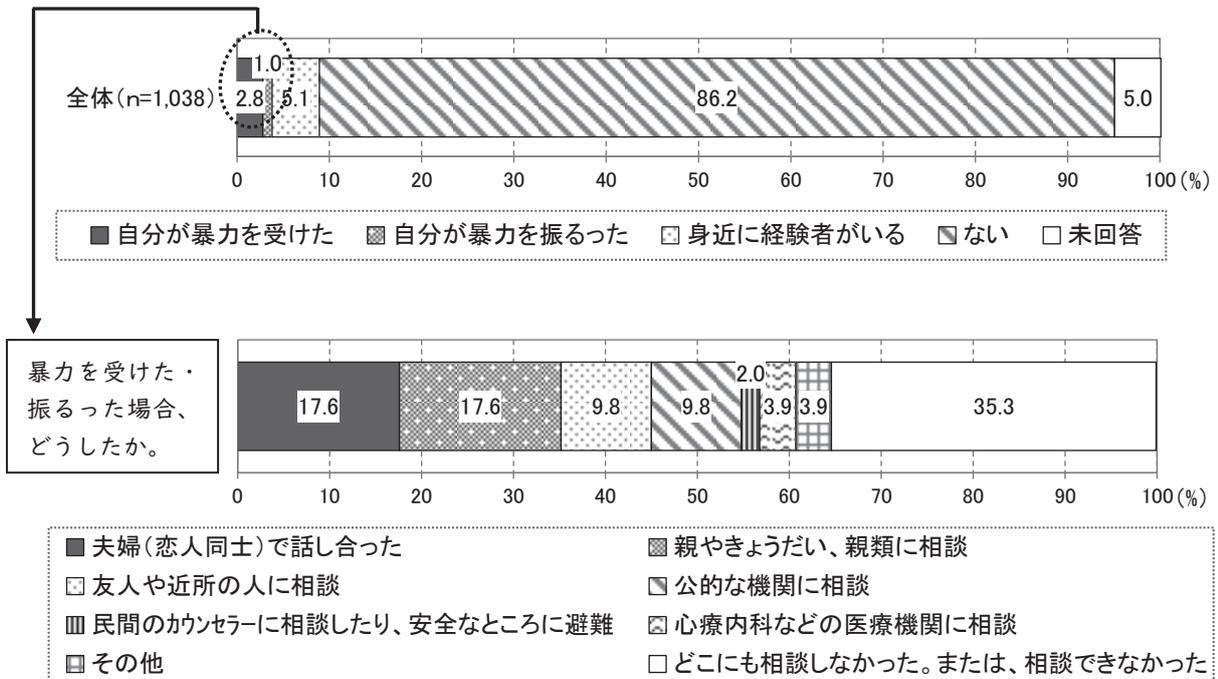
DVについて「知っている、言葉を聞いたことがある」は90.3%となっています。



質問内容 最近、DVやデートDV^(※)について、経験したり、暴力を見聞きしたことがあるか。ある場合、その時どうしたか

「暴力を受けた」+「暴力を振るった」の割合が3.8%となっています。直接的な加害者や被害者を減少させ、暴力のない社会環境づくりを進めるためにも、DV等に関する教育や啓発を充実させる必要があります。

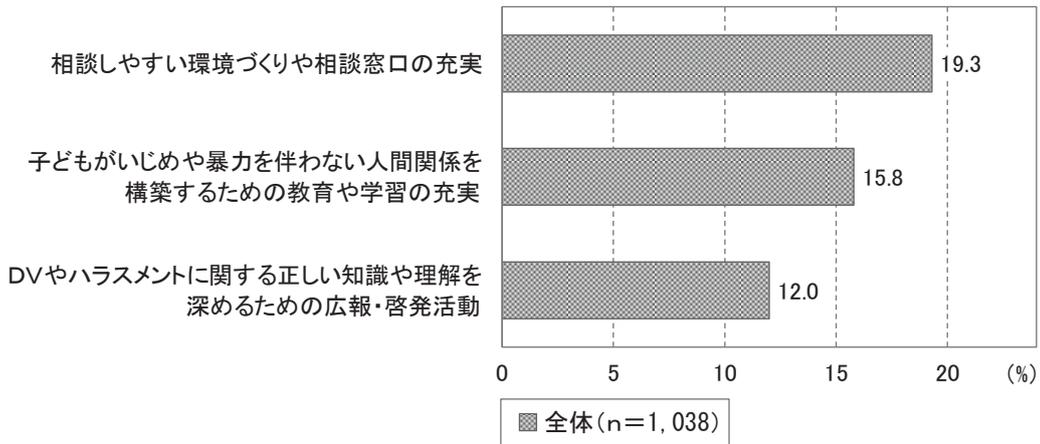
また、暴力を受けた・振るった時に「どこにも相談しなかった。または、相談できなかった」の割合は、35.3%です。相談しやすい環境づくりに努める必要があります。



質問内容

DVやハラスメントへの対策や支援として、どのようなことが必要だと思うか ※グラフは上位3番目まで

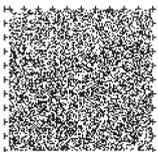
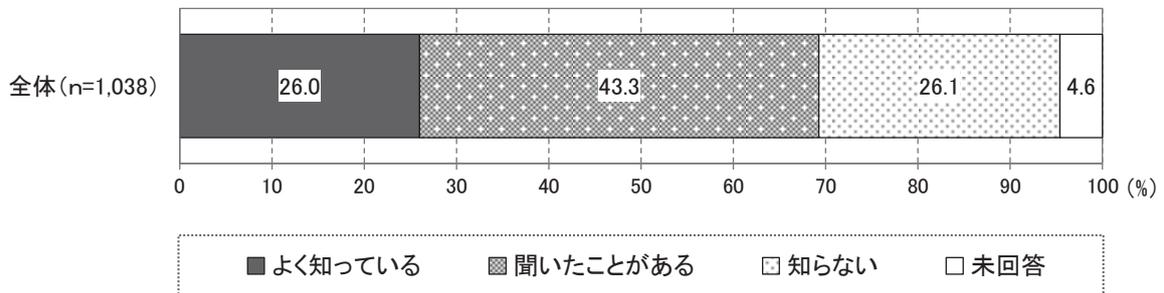
上位3つまでを見ると、「相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」、「子どもがいじめや暴力を伴わない人間関係を構築するための教育や学習の充実」、「DVやハラスメントに関する正しい知識や理解を深めるための広報・啓発活動」の割合が高くなっています。引き続き、相談しやすい体制の整備、教育や啓発を求められます。



質問内容

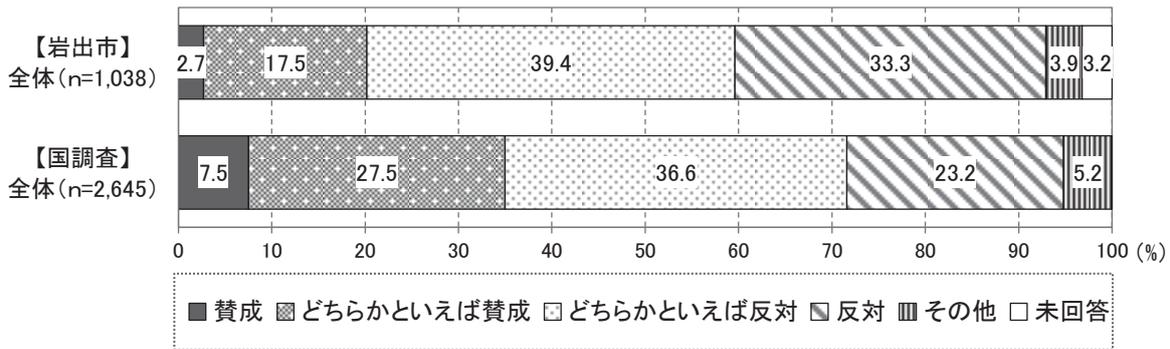
ジェンダー（社会的性別）を知っているか

ジェンダーについて「よく知っている」は26.0%、「聞いたことがある」は43.3%となっています。



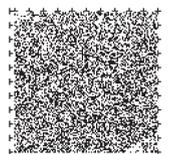
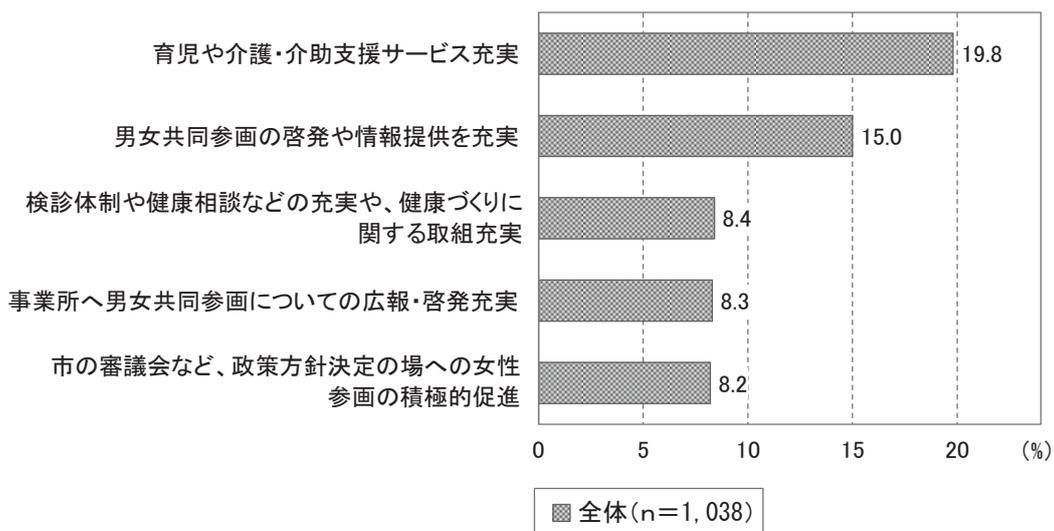
質問内容 「男は仕事、女は家庭」、「女の子とはこういうもので、男の子とはこういうもの」といった男女で役割を固定した考え方について、どう思うか

市の調査結果は、国の調査結果と比べて、「どちらかといえば反対」+「反対」の割合が高くなっています。引き続き、性別による社会的な固定観念や偏見・差別等をなくすよう、ジェンダー平等の視点に立った環境づくりを進める必要があります。



質問内容 さらに男女共同参画を進めるため、市がどの点に力をいれるべきだと思うか
※グラフは上位5番目まで

上位5つまでを見ると、「育児や介護サービスの充実」、「男女共同参画の啓発や情報提供」の割合が高くなっていることから、特にこれらの点の充実に取り組む必要があります。



(3) 事業所調査の概要

第5次岩出市男女共同参画プラン策定のための基礎資料とするために「男女共同参画社会づくりのための意識調査（事業所）」を実施しました。

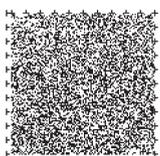
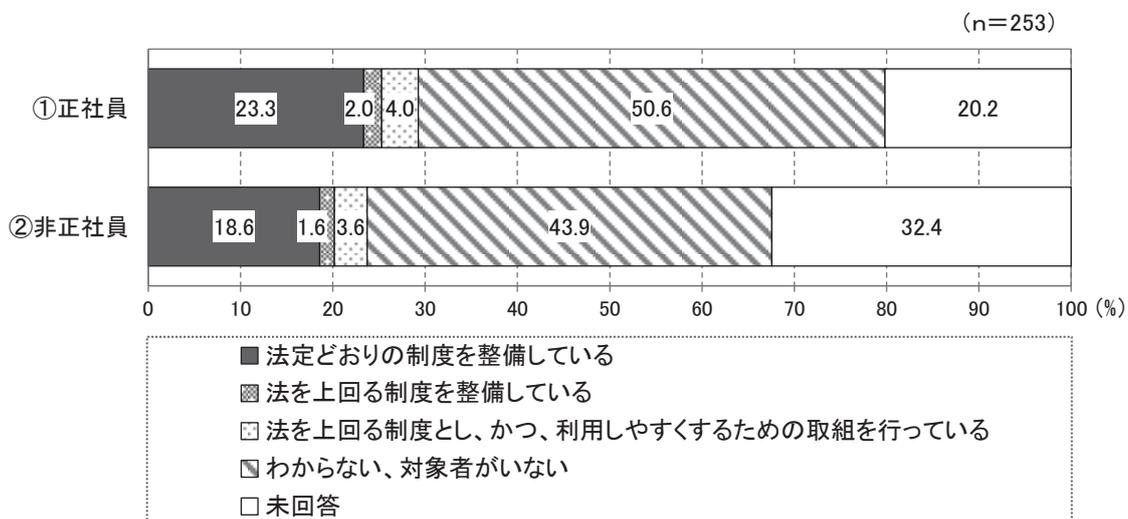
▪ 調査対象	岩出市所在の岩出市商工会会員
▪ 調査対象者数	528社
▪ 調査方法	郵送による調査票の配布・回収
▪ 調査期間	令和2年9月～11月

調査対象者数（配布数）	528票
回収数	253票
回収率	47.9%

(4) 事業所調査の結果

質問内容 仕事と子育て・介護の両立支援について、どの程度の取組を進めているか

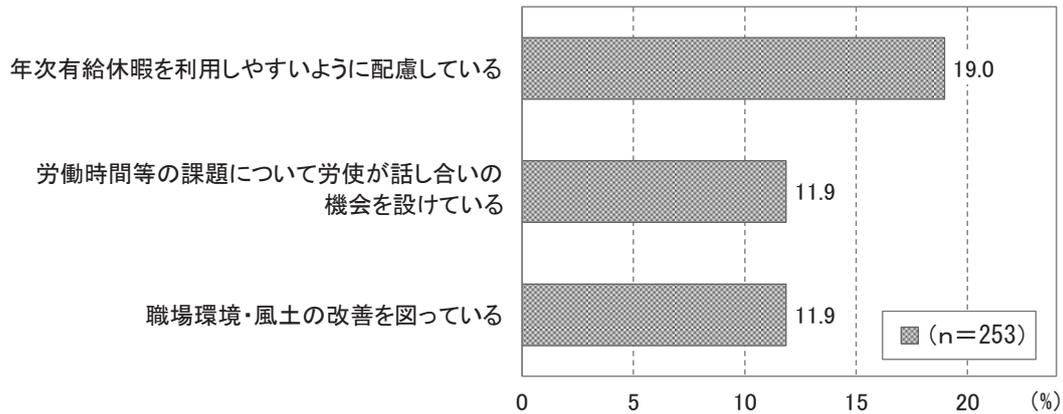
「法定どおり」+「法を上回る」+「法を上回り、利用しやすい取組」の割合が、正社員では29.3%、非正社員では23.8%となっています。ワーク・ライフ・バランスの推進のため、啓発等によりこれらの割合を上げていく必要があります。



質問内容

女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援のために取り組んでいることはあるか ※グラフは上位3番目まで

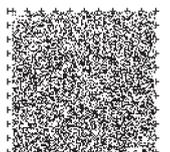
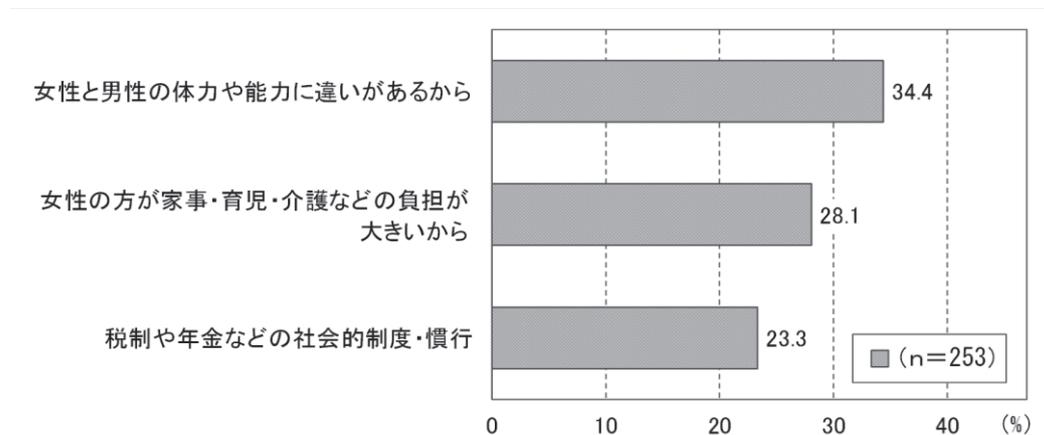
上位3つまでを見ると、「年次有給休暇を利用しやすいように配慮している」の割合が高く、次に「労働時間等の課題について労使が話し合いの機会を設けている」と「職場環境・風土の改善を図っている」になっています。



質問内容

職場において男女共同参画を困難にしている要因は、どのようなことだと思いますか ※グラフは上位3番目まで

上位3つまでを見ると、「体力や能力の違い」の次に「女性の方が家事等の負担が大きい」の割合が高くなっています。市民意識調査でも同様の結果であったことから、男女平等の観点による家事の分担等の意識啓発が求められます。

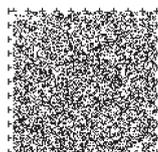


3. 第4次プランの取組状況

(1) 第4次プランの実施状況

第4次岩出市男女共同参画プランでは、5つの基本目標、278の取組により、男女共同参画に関する様々な事業・取組を推進してきました。本市では毎年度、事業・取組の評価・検証を実施していますが、本プランの策定に当たり各事業を改めて精査・検討するとともに、今後の方向性により事業・取組を整理しました。

基本目標		事業・取組数	今後の方向性			
			拡充	維持	縮小	統合
1	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革	48	3	45	0	0
2	いきいきと暮らせる地域づくり	59	6	53	0	0
3	働きやすい環境の整備	54	1	52	0	1
4	安全・安心して暮らせる環境づくり	90	3	86	0	1
5	行政組織内の取り組み	27	1	26	0	0
合計		278	14	262	0	2



(2) 第4次プランの指標の達成状況

第4次プランにおいて設定した指標の達成状況は、次のとおりです。

策定時から改善に向け推移している項目もありましたが、令和2年からは、新型コロナウイルス感染拡大により予定通り事業が実施できなかったため、多くの指標項目で目標値の達成には至りませんでした。

引き続き、本プランにおいても新たな指標を掲げる中で、男女共同参画社会の実現に向け取り組みます。

基本目標	重点目標	項目	計画策定時 (2016年)	実績	目標値 (2021年)	達成状況
1 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革	1 男女共同参画の実現に向けた啓発の推進 2 多様な分野での男女共同参画の推進	男女共同参画の推進の満足度	58.2%	55.3%	83.3%	未達成
		学習活動への参加者数	125,456人	44,198人	160,000人	未達成
2 いきいきと暮らせる地域づくり	1 まちづくりの男女共同参画促進 2 家庭生活の中での男女共同参画の促進	審議会等 ^(※) 委員への女性の登用率	23.5%	31.5%	30.0%	達成
		ボランティアグループの数	20団体	14団体	26団体	未達成
		地域防災訓練への参加者数	7,774人	中止	9,500人	未達成
		子育て応援企業認定事業所数	18社	32社	30社	達成
		地域子育て支援センター ^(※) 年間利用者数	7,198組	4,232組	7,838組	未達成
3 働きやすい環境の整備	1 雇用分野における男女共同参画の推進 2 就業意欲の形成と就業能力の開発・向上 3 自営業・農業等における男女共同参画の推進	創業セミナー開催数	8回	4回	8回	未達成
		ファミリー・サポート・センター ^(※) 年間利用者数	1,432人	1,164人	1,765人	未達成
		認知症サポーター数	797人	2,086人	1,262人	達成
4 安全・安心して暮らせる環境づくり	1 あらゆる暴力の根絶 2 安心して相談できる環境づくり 3 自立への支援体制の整備 4 多様性を認め、様々な困難な状況におかれている人が安心して暮らせる環境づくり 5 男女共に生涯を通じた健康支援	DVについての周知度	55.0%	90.3%	58.0%	達成
		がん検診受診率	32.9%	25.3%	50.0%	未達成
		妊婦検診受診率	95.3%	95.4%	100.0%	未達成
		大阪方面路線バス・岩出市巡回バスの利用者数	127,571人	85,933人	140,000人	未達成
		シルバー人材センターへの加入者数	414人	503人	500人	達成
		老人クラブへの登録者数	1,967人	2,011人	2,500人	未達成
		スポーツ施設の年間利用者数	291,997人	171,874人	350,000人	未達成
5 行政組織内の取り組み	1 行政組織内の意識改革 2 女性職員の登用と環境づくりの推進	審議会等委員への女性の登用率【再掲】	23.5%	31.5%	30.0%	達成
		男性職員の配偶者出産休暇、育児参加のための休暇の取得率	50.0%	78.6%	100.0%	未達成

